

# 安全登山サテライトセミナー

## 有意義な講義で参加者魅了!

平成30年度「安全登山サテライトセミナー(名古屋)」(主催・日本スポーツクライミング協会、国立登山研修所)が、11月3・4日名古屋工業大学に於いて開催された。

このセミナーは、高等学校において登山の指導的立場にある方や大学生、一般登山者トレイルランニング愛好家など対象に、安全で安心な登山を実施するために必要な知識や理論の習得を図る目的で行われ、2日間で延べ550人が参加した。

第一日目は、午後1時から始められ、最初に「プランニング」を北村憲彦・名古屋工業大学教授が、安全登山の仕事とプランニングについて講義。「登山の運動生理学」を山本正嘉・鹿屋体育大学教授が登山中にトラブルを起さないための身体の知識とトレーニング方法について講義され、つづいて「ロープの基礎技術」を笹倉孝昭・山岳ガイドが安全登山のための正しいロープワークの知識を講義して、6時20分に終了した。

第二日目は、午前9時に開始され、まず「山の天気」に

ついて猪熊隆之・気象予報士が、気象遭難を防ぐための天気図の見方、安全登山のために気象リスクを予想しよう」と講義。次に「積雪と雪崩」を飯田肇・日本雪水学会北信越支部副部長が、「登山における積雪と雪崩の基礎知識」について講義。最後に「危急時対応」を長岡健一・国際山岳ガイドが、セルフレスキュー(山で遭難しないためには自分の身を守るためには)について講義していただいた。

6講師とも解り易く説得力のある語りで、時折ユーモアもあって参加者を魅了し、午後3時30分閉講した。

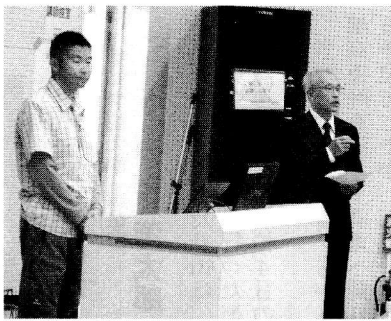
### セミナーに出席して

やまびこ山想会(第一日目) 森崎 幸子

安全に登山するには実践だけではなく、知識も必要だと会長からの勧めで受講する機会を得られました。北村憲彦講師のプランニングに関する講義では、計画を立てる段階であらゆるリスクマネジメントをすべきであり『引き返

す勇氣ではなく、引き返す計画を実行すること』この言葉に、はっとさせられました。正しく計画するということは引き返すこともプランに入っているべきであるということなのです。

また、スポーツトレニング専門の山本正嘉講師から、登山前の静的ストレッチから筋肉にこれからの登るんだよと刺激を与える運動が効果的であり、そのための動画を紹介していただきました。そして、笹倉孝昭講師からは正しいロープワークとして適材適所の選択をすること、そしてきれいに結ぶことは正しく結ばれていることにもなることを教えていただきました。とても興味深い講義ばかりで、すぐに実践に結びつくことも多く時間がとても短く感じる5時間でした。



写真右から北村、猪熊の各講師

### 岡崎山岳会(第二日目)

#### 磯村 雅仁

間でした。これからも山を楽しむために、今回学んだことをぜひ実行していきたいと思いました。

2日目の講義の感想です。講義Ⅳ「山の天気」天気予報は平地のものであり、山頂の天気は2/3割外れる。そんな時に気象遭難がよく起きる。計画の段階で想定できるリスクは全て織り込み済みにしておく、山行近くになったら天気図をよく観て中止か行るか判断。行くなら引き返すポイント(第一線)を想定しておく。第一線を越えたら行き切る気持をメンバー全員が共有できればその山は登れる。猪熊さんの講義を受けてこんな気持ちになった。

講義Ⅴ「積雪と雪崩」では弱層形成から雪崩発生メカニズムがよく理解できた。講義Ⅵ「危急時対応」山で遭難しないため、の長岡さんの講義で自分のガイドライン・ルールを作り続けようと思う。山に行く前に地形図やWEB写真を読んで登るルート上の地形的概念をつかんで頭に入れる。山に入ったら現在地を絶えず捕捉しながら登ろうと思う。

うなぎ錦三丁目 い ぼ しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号  
 TEL <052> 951-1166 番  
 営業時間 午前 11:00~午後 2:30  
 午後 4:00~午後 8:00  
 定休日 日曜日・第二・第三月曜日

Renopoint

<http://www.renopoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)  
 カジュアルユニフォーム&グッズ  
 デザイン・企画・制作  
 お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパ・チ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7  
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopoint.jp

